

教育振興基本計画策定に関するヒアリングシート

団体名	狛江市立公民館運営審議会
担当部署名	教育部公民館
実施日時	令和6年6月25日（火）18:30~19:00

■ 共通事項

1 現在、課題として考えていることは何でしょうか。

・ 公共施設利用の一本化

団体活動する施設には、公民館、地域・地区センター、学校施設等があるが、手続きの方法や窓口が統一されておらず、情報や利用状況にも偏りがある。市民センターの休館をきっかけとして利用できる施設が広がればよい。

・ 公民館のイメージの向上

若い世代を中心に、「公民館をよく知らない」、「何を行うところか分からない」という声がある。身近な施設として利用してもらうための取り組みが必要である。

2 狛江市の教育に期待することがあれば、教えてください。

・ 学び返しの促進、仕組みづくり

教える―教わるといった一方的な関係だけでなく、公民館を長く利用した利用者が、公民館を初めて利用する若い方に教えるといった「学び返し」を行う仕組みづくりを行うことで、地域のつながりや社会教育活動の活性化につながる。

■ 個別事項

1 公民館の若い層の利用を増やすためにはどうすればよいでしょうか。

・ 中高生の居場所・活動場所の確保

1人で集中して学習できる場、仲間と話をしながら遊べる場所等、様々な種類の居場所をつくること。

・ 親しみやすいイメージ

親近感が湧くネーミングを市民センター改修後に付ける。

2 時代のニーズに合わせた持続可能な公民館にするためにはどうすればよいでしょうか。

・ 若い世代の利用を増やす。

子どものころから公民館に親しみを持っていただくことで、大人になっても公民館を利用してもらえるような仕組みづくり。

・ 公民館職員のスキルアップ

現場で働く職員が、社会教育、生涯学習に関する知識スキルを身に付けるための研修等を充実させてほしい。